

1. 対象地域の設定

調査対象は、江戸時代から皮革関連の製造・流通拠点であった大阪市中心市街地の南部とする。

図 対象地域の位置



地図出典：「マップナビおおさか」

2. 人口の推移

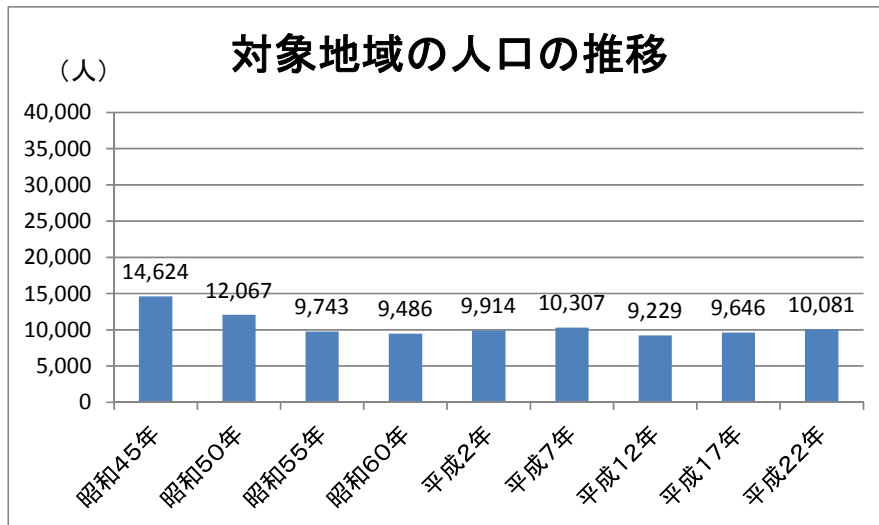
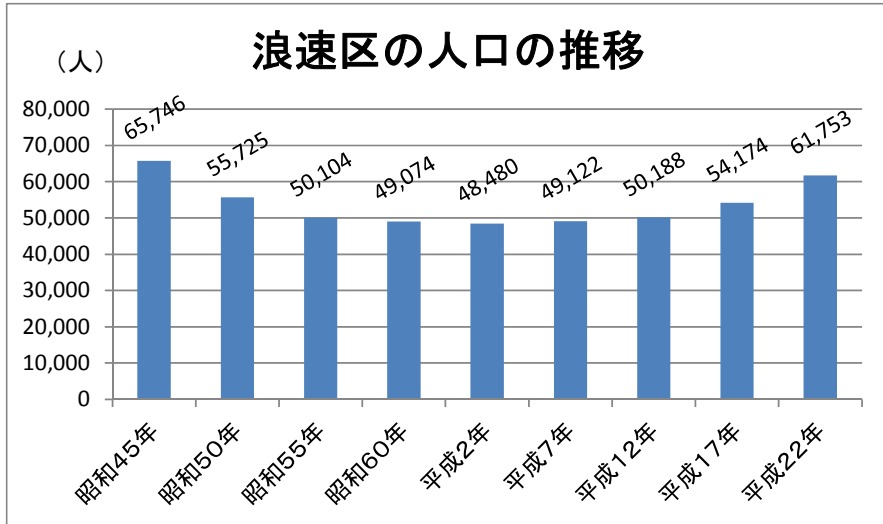
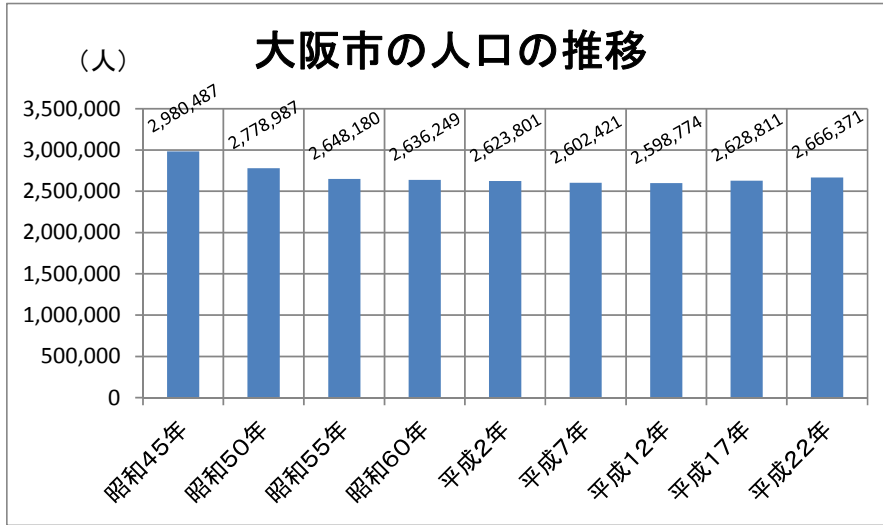
高度経済成長のピークを過ぎるころから、日本の社会・経済構造が東京一極集中へと大きく変貌する中で、大阪市の一部の地域においても徐々に地場産業の成長に陰りが見られ、『ものづくり大阪』の基盤が弱体化していった。

また、大阪市の中心部に位置する浪速区も、かつては住工商混在型の産業構造であったが、都市化の進行とともに、商業、サービス業など第3次産業中心の産業構造へと変化していった。

この間の人口の推移をみると、大阪市の人口は昭和45年には298万人であったのが、その後は減少・横ばいの傾向で推移し、平成22年現在では267万人（昭和45年比10%減）の水準である。また、浪速区では製造業の衰退と都市産業化が同時に進行し、昭和45年の65,700人から減少傾向で推移し、平成2年には48,500人まで落ち込んだが、その後は復調の傾向にあり、平成22年では61,800人（平成45年比6%減）まで回復している。

一方、対象地域は、昭和45年の14,600人から減少傾向で推移し、昭和60年9,490人に減少した後は微増微減を繰り返し、平成2年では9,200人まで落ち込んだが、その後は微増傾向で推移し、平成22年では10,100人（昭和45年比30%減）となっている。

浪速区は、製造業の衰退と都市化、核家族化の影響を受け、若年層・壮年層の転出を招き、結果的に高齢者や生活基盤の弱い低所得者などの割合が増加し、ややもすると活力と賑わいの少ない地域となっている。



資料：国勢調査

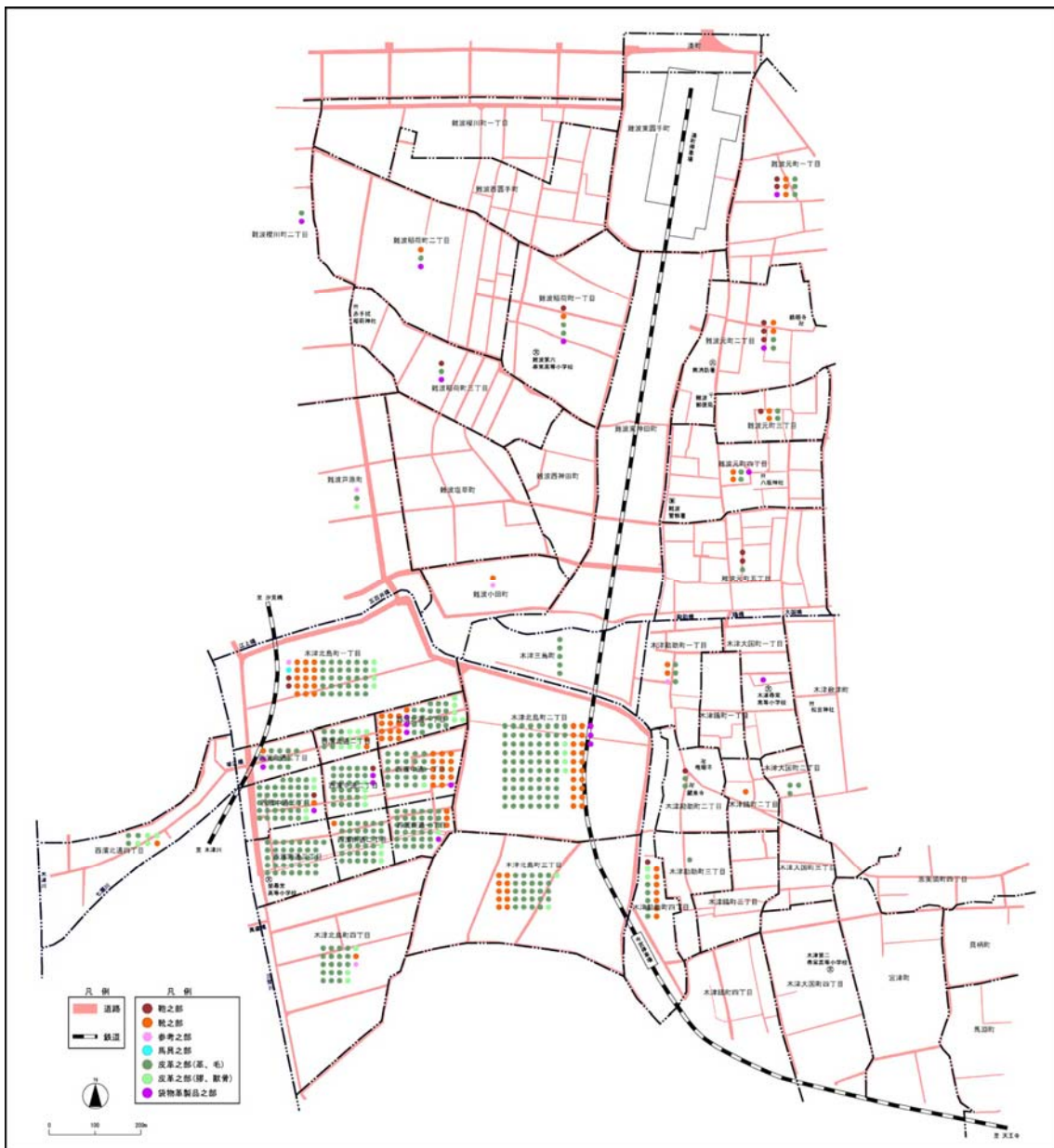
3. 地場産業の発展と衰退

1) 大正末期以降の皮革関連産業の発展と衰退

江戸時代発祥の皮革関連産業は、明治期以降には富国強兵政策の一環として、軍需用皮革製品の製造によって地域経済の中核的位置を担い、大阪市・浪速区の経済を支えていた。

当時、大規模事業所及び中小事業所が立地し、活力と賑わいのある産業地として全国から職を求める人々が流入した。

図 大正 14 年頃の皮革関連産業の事業所の分布



第二次世界大戦時の大阪空襲により、大阪の街は殆どが焼土となり、産業基盤はほとんど喪失したが、戦後いち早く復興土地区画整理事業に着手して、都市基盤である道路、公園、下水道を整備し、長い年月を要したが平成3年3月末に事業は完了した。

当該対象地域も、劣悪な住環境にあった住民の改善要求を受け、大阪市は公営住宅の建設に着手し、近代的な鉄筋コンクリートの共同住宅とこれに近接した地場産業である皮革関連産業の小規模な仕事場も整備していった。

戦前の大規模工場を中心とする皮革関連産業から、戦後は小規模な皮革関連産業により地域産業は活発化していったが、その後の大阪を取り巻く社会・経済環境の変化による経済の衰退、皮革関連産業の近代化の遅れ、海外の廉価な皮革製品の流入などにより、地域の皮革関連産業は急速に地場産業としての力を失っていった。

浪速区においては、今日、数社の皮革関連事業所を残すのみで、皮革関連の仕事に従事する人々の姿は街から消え、産業の活力と人々の賑わいが感じられない閑散とした街に変貌してしまった。

2) 近年の皮革関連産業の状況

浪速区の「なめしかわ・同製品・毛皮製造業」産業は、戦前の大規模工場等による軍需産業としての位置づけから、日常品の生産に移行し、戦後の復興事業と並行して地場産業として着実な発展を遂げ、1966年（昭和41年）の工業統計では、99事業所（従業者4人以上）があり、区内全事業所の14.0%を占めていた。また、従業員数も1,331人と、区全体の10.8%を占め、活力ある地域の中核としての役割を担っていた。

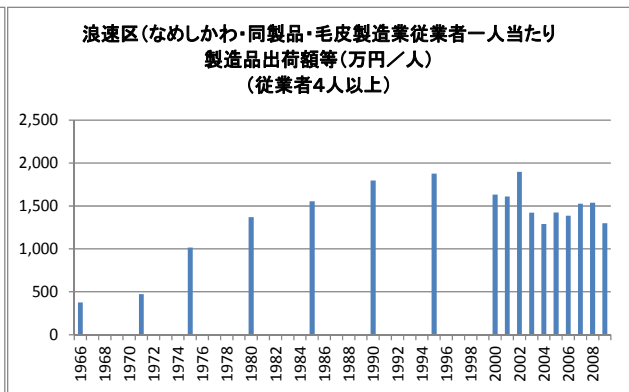
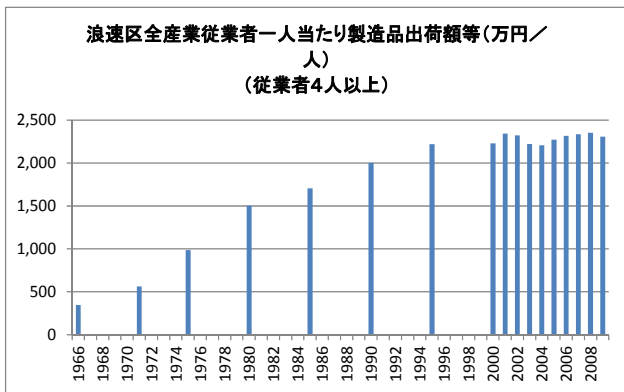
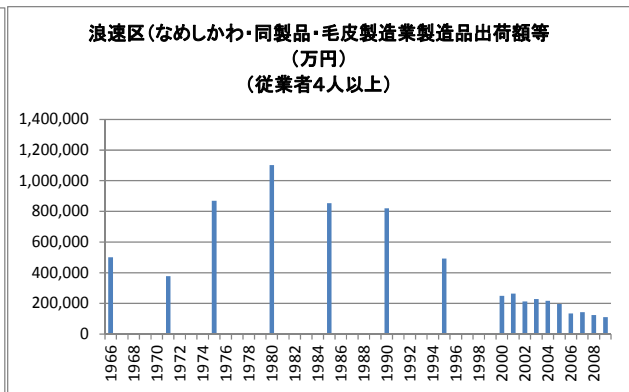
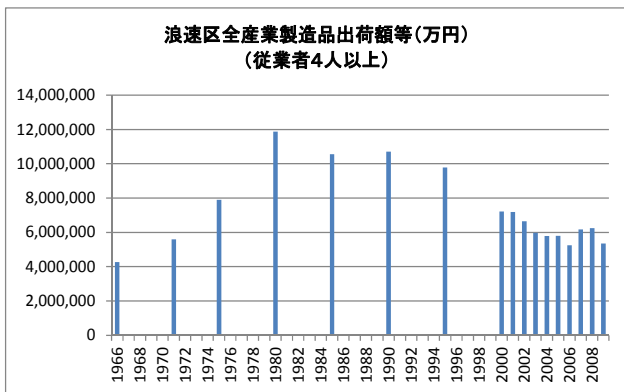
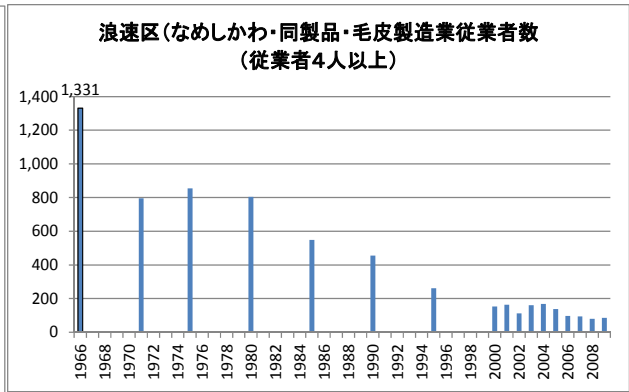
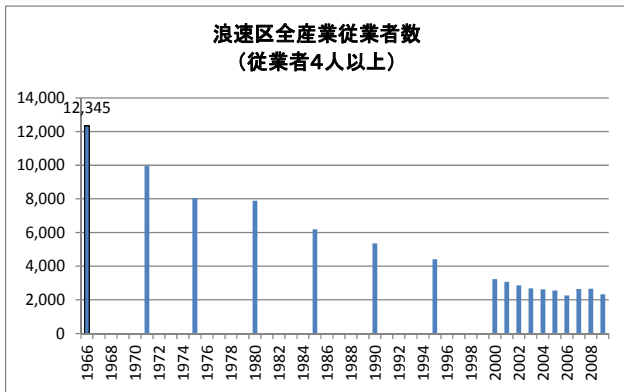
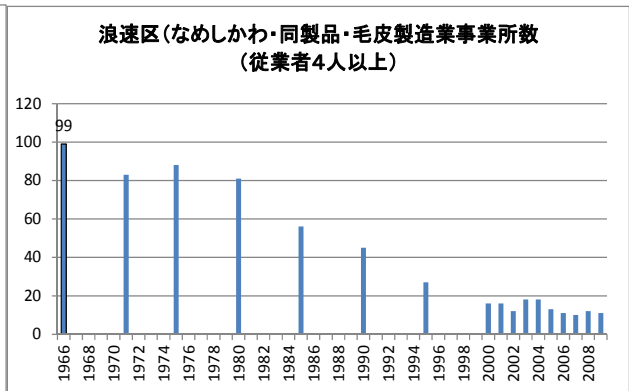
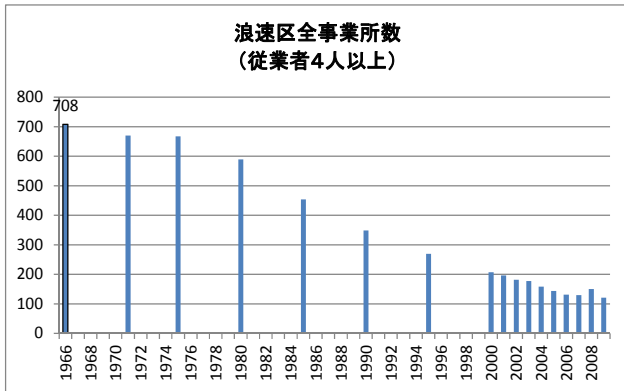
その後、高度経済成長の影響をうけ、1980年（昭和55年）では製造品出荷額等は110億円で区全体の1187億円の9.3%を占めていた。しかし、そのころをピークとして製造品出荷額等は減少傾向に転じ、2000年には25億円まで落ち込み、区全体の生産額722億円の3.5%となった。事業所も16事業所と大きく減少し、従業員数も153人となった。

2009年（平成21年）では製造品出荷額等は11億円、事業所数は11事業所、従業者数も85人とかつての地場産業としての活力は見られないのが現状である。

業種としては、かつて地域が全国の太鼓生産の一大拠点であったことを思い出させるが、太鼓店は4箇所、皮革製品等の卸売店が10箇所、靴加工所が3か所存在するのみである。

労働生産性の推移をみると、区内の産業全般では着実な成長をとげ、1995年には従業員一人当たり約2,200万円の水準に達し、2009年には約2,300万円の水準を保っている。

一方、「なめしかわ・同製品・毛皮製造業」においては、1995年で約1900万円程度であり、その後も減少傾向に歯止めはかからず、2009年では約1,300万円まで減少し、産業としての成立が危惧される。



資料：工業統計

表 浪速区の工業統計(全産業)

年度	事業所数 (従業者4人以上)	従業者4人以上の事業所						
		従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原材料使 用額等 (万円)	製造品出 荷額等 (万円)	一人当たり 製造品出荷 額等 (万円)	粗付加価 値額 (万円)	従業者20人 以上の有形 固定資産年 末現在高 (万円)
1966	708	12,345	826,177	2,628,242	4,265,118	345	1,620,178	117,889
1971	670	9,941	896,852	3,475,271	5,601,529	563	2,082,622	529,125
1975	667	8,028	1,386,953	4,790,170	7,904,290	985	3,112,221	462,067
1980	589	7,897	2,013,350	7,531,135	11,874,319	1,504	4,331,273	961,411
1985	454	6,192	1,963,573	6,089,231	10,560,041	1,705	4,466,278	1,544,205
1990	349	5,348	2,004,937	5,705,764	10,702,767	2,001	4,915,265	1,381,470
1995	269	4,405	1,900,046	5,444,105	9,784,359	2,221	4,238,378	1,615,923
2000	207	3,236	1,395,962	4,083,413	7,216,897	2,230	3,029,393	1,563,053
2001	196	3,066	1,332,768	3,957,921	7,180,872	2,342	3,070,479	1,042,196
2002	182	2,866	1,231,496	3,400,069	6,654,234	2,322	3,099,999	1,151,553
2003	177	2,685	1,131,615	3,118,386	5,968,623	2,223	2,716,432	930,189
2004	158	2,620	1,124,342	3,244,704	5,784,175	2,208	2,420,028	938,563
2005	144	2,549	1,077,005	3,144,929	5,793,541	2,273	2,524,332	1,426,289
2006	131	2,263	1,019,714	2,661,125	5,243,843	2,317	2,462,055	716,839
2007	130	2,644	1,191,030	3,486,586	6,175,318	2,336	2,564,087	729,769
2008	150	2,657	1,124,550	3,538,633	6,250,585	2,352	2,585,785	737,577
2009	121	2,318	1,021,810	2,896,146	5,350,797	2,308	2,338,977	698,402

資料:工業統計

表 浪速区の工業統計(なめしかわ・同製品・毛皮製造業)

年度	事業所数 (従業者4人以上)	従業者4人以上の事業所						
		従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原材料使 用額等 (万円)	製造品出 荷額等 (万円)	一人当たり 製造品出荷 額等 (万円)	粗付加価 値額 (万円)	従業者20人 以上の有形 固定資産年 末現在高 (万円)
1966	99	1,331	67,703	312,904	500,947	376	188,043	11,920
1971	83	796	54,883	257,878	377,016	474	119,138	5,630
1975	88	854	129,777	562,715	868,685	1,017	305,970	16,668
1980	81	804	171,238	719,299	1,101,535	1,370	382,236	25,496
1985	56	549	128,009	544,344	853,279	1,554	308,935	87,518
1990	45	456	117,690	445,519	819,926	1,798	368,695	63,167
1995	27	262	85,816	341,716	491,705	1,877	145,993	72,294
2000	16	153	47,439	163,231	249,655	1,632	83,807	11,087
2001	16	164	47,107	154,913	263,908	1,609	103,820	-
2002	12	112	37,869	100,935	212,497	1,897	106,250	-
2003	18	161	46,236	109,475	228,745	1,421	113,592	-
2004	18	169	50,645	98,502	217,590	1,288	113,415	-
2005	13	138	40,123	97,671	196,621	1,425	94,238	37,569
2006	11	97	34,974	64,857	134,404	1,386	66,283	-
2007	10	94	33,192	68,388	143,434	1,526	71,473	-
2008	12	80	28,142	73,789	122,960	1,537	46,973	-
2009	11	85	25,854	66,216	110,383	1,299	42,064	-

資料:工業統計

<参考データ>

表 浪速区のなめしかわ・同製品・毛皮製造業事業所数

		事業所数					
		3人以下 の事業 所)	4～9人 の事業 所)	10～29人 の事業 所)	30～299 人の事業 所)	300人以 上の事業 所)	全規模の 事業所)
(なめしかわ・同製 品・毛皮製造業)	実数(所)	222	39	26	5	1	293
	構成比(%)	75.8	13.3	8.9	1.7	0.3	100.0
全産業	実数(所)	538	272	261	97	3	1171
	構成比(%)	45.9	23.2	22.3	8.3	0.3	100.0

資料:工業統計1960年

4. 地場産業再生への課題

現在地域内にある、皮革関連産業の従業者4人以上の事業所数は、11事業所で従業者数は85人にすぎない。また、太鼓製造販売店や小規模皮革加工事業所等が複数存在はしているが、地域の雇用の場としての役割を果たせていないのが実情である。

地域が賑わいと活力を取り戻すためには、現在の住宅機能単独の地域形成ではなく、産業（雇用）機能、地域住民と来街者との人的交流機能などの複合的機能の存在が不可欠である。

地場産業を再生していくための主要な課題を以下に取りまとめた。

① 皮革関連産業の資源・資産（ハード、技術、人材）の保全と有効活用の検討

当地域には、江戸時代から発展してきた皮革産業の歴史があり、多くの産業機械や道具、磨き抜かれた匠の技・技術・工夫を有する人材があり、また皮革関連の様々な資料も残存しているが、貴重な資産の散失を防ぎ後世に伝え、有効に活用していくためには、早期に適切な体制づくりを進める必要がある。

一部、有志により収集と保全が行われているが、今後は地域と行政等の関係者が協力・連携して効率的に推進していくことが求められる。

② 地域内遊休土地の活用

地域内には大阪市の保有する遊休土地が存在するが、今後、これらの土地が無秩序・無計画に売却されれば、地域づくりと乖離する土地利用となる恐れがある。

計画的な地域づくりを進めるために、地域内地場産業の立地・集約地としての活用の可能性などを検証し、地域の既存土地利用との調整を図りつつ、住・職近接の新たな地域づくりの拠点として活用していく必要がある。

③ 従来型皮革関連産業から新たな視点の都市型産業（6次産業化）へ

地場産業の再生は、従来型皮革関連産業のリポートではなく、交通基盤等が整備された立地特性、住宅を中心とする現在の住環境との親和性、社会・経済状況の変化、生活スタイルの変化と消費ニーズなどの外部要件を踏まえつつ、新たな視点での都市型産業としての皮革関連産業の再生を考えていく必要がある。

新たな視点とは、従来の「皮革のものづくり」を製造し販売する一方通行の視点から、創ることの楽しみ、使うことや見せることの嬉しさ、ものづくりを学ぶことの喜びを提供するサービス業としてとらえることである。

靴やかばんのデザイン発表会や靴づくりのワークショップなどには、若者を中心として多くの人が集まる。また、太鼓づくりへの見学や太鼓演奏を楽しむ若者

の姿も多くなってきており、「皮革のものづくり」を新たな視点で見つめ直し、付加価値の高い都市型産業へと飛躍発展させていくことが、新たな地場産業形成の一方向であるといえる。

④ 若手人材の育成

地場産業の再生には、人材の確保と育成が欠かせないが、現状では目指すべき地場産業のコンセプトや具体的なイメージが確立できていないので、若手人材の育成が難しい状況にある。

若者を新たな地場産業形成の担い手として育成していくためには、基本となる皮革のものづくりの知識と技術の学習が欠かせない。しかし、公的機関での習得に限界があり、地元地域において若手を継続して育成していく場づくりが欠かせない。

皮革のものづくりに関心のある若者は地域外にも多く存在しており、様々な機会を活用し、地域内外の区別なく広く育成人材を募集し、育てていくことが求められている。

5. JR 芦原橋駅周辺での新たな皮革のものづくり職人の誕生と展望

例 1 : 有限責任事業組合 LLP 「Leather Works Collaboration」(靴職人育成の場)



ホーム
LWCについて
講師紹介
講座・イベント
アクセス
お問い合わせ



Bag and Leather items, leather goods and the others
Tradition and Innovation
Career and Fresh
All We are collaborating with.

講座・イベント

THE EGGS WILL HATCH OUT TO YOUNG BIRDS

2012.3.30(土) 13:00~15:00

会場: 芦原橋駅前

[詳しく読む](#)

Beginnina new leather FES 手作り道具展販売会

シユースト主催の展示販売会に参加いたします。

LWCでの初の販売会です。毎月1点生産している商品を販売しています。まだまだ、在庫もありませんが買に来ていただければとあります。

[詳しく読む](#)

革小物講座

本格的な革小物講座です。職人歴26年のベテラン職人による指導。若手の経験者の方や靴、袋物職人の方も次のステップに参加してみませんか？

[詳しく読む](#)

なまこち講座

業界では希少ながまこち職人！！

メーカー直販経路の作る若手がまこち職人の指導の下、プロの技を習得してみませんか？

[詳しく読む](#)

お知らせ

2011.11.09

LWC 鎌倉本町店
「レザワカ WEBショップ」
<http://www.nakuten.co.jp/gyokawa/index.html>
sokuzakka (ソックザッカ)
六甲営業所(営業部)1F
TEL: 072-755-1245
営業中

品番: 2011.4 (1) (2) (3) (4) に変更しました (1/24)

Leather Works Collaborations



〒556-0025
大阪府港区東区東区1-4-14
TEL/FAX 06-6586-9406
E-MAIL info@leatherworkscollaborations.com

LWCについて

ホーム
[トップページ](#)

当組合の代表者: 関達彦(代表)の氏名と業務内容: メーカーと職人のマッチングなら
Leather Works Collaborations (レザーワークスコラボレーションズ)
〒556-0025 大阪府東区東区1-4-14 TEL/FAX 06-6586-9406 E-MAIL info@leatherworkscollaborations.com

©2012 Leather Works Collaborations. All Right Reserved.

<http://leatherworkscollaborations.com/>

① LWC が目指すもの

- ・職人を目指す若者への技術指導と育成
多種品目、小ロット化が進む国内生産。そこに対応できるデザイナー型紙へ量産までできる職人を育成します。
- ・職人と職人を目指す若者の物品販売
LWC ではネット販売とイベントでの販売を行います。ネットでは一定レベル以上の商品を販売。職人たちが LWC のネット販売に参加したいというような WEB 店舗を目指します。
- ・関連業者間の交流会と情報発信
革、袋物業界、革関連だけでなくデザイン関係者などの交流と情報発信を目指します。

② 組合概要

組合名：Leather Works Collaborations（レザーワークスコラボレーションズ）

設立年月日：2011年2月5日

組合員：橋本みずえ（鞆サンプル師、デザイナー）、
仲辻政彦（工業用ベルト職人）

住所：〒556-0025 大阪市浪速区浪速東 1-4-1

連絡先：TEL/FAX 06-6586-9486

E-MAIL：info@leatherworkscollaborations.com

ホームページ：<http://leatherworkscollaborations.com/>

③ 活動内容

- ・各種講座とセミナーの開催
型紙講座・包丁講座・漉き機講座など
業界関係者を招き実際の現場に関するセミナーを開催
- ・鞆職人の人材育成（研修1年間）
ミシン指導
インターンシップ
メーカー、職場や LWC 量産などでの現場研修（量産に対応できるレベルは必要）
- ・物品販売事業
LWC ネット販売（2012年4月完成目標）
イベント開催・参加
- ・お仕事バンク（2012年4月完成目標）

- 鞆メーカーと職人のマッチング、鞆業界のハローワークを目指します
- ・共同作業場運営（レンタルスペース／2012年より開始予定）
マシン各種、漉き機、作業台などをお貸しします

④ 今後の課題や要望

・橋本みずえ氏の今後の課題と要望（ヒアリングも元に記載）

橋本氏は、鞆づくりの職人として17年のキャリアがあり、日々技術の研鑽に努め、質の高い皮革商品を生み出している。

現在、日本の様々な産業分野で、ものづくりの伝統技術を伝承する人々が減少していることが深刻な課題となっているが、皮革業界においても職人の高齢化と後継者不足が深刻となっている。また、中国からの廉価な皮革製品の流入により我が国の皮革製造業は大きな打撃を受け、付加価値の高い皮革製品づくりが求められている。

職人の育成は業界緊急の課題であるが、同時に「作家志望」の若者が増えつつある。

職業としての位置を獲得するには、確かな皮革の加工技術を身につける必要があるが、技術を学ぶ機会が少ないのが現状である。

このような状況のなかで、橋本氏は、皮革業界からの人材育成（メーカーの職人＝量産化技術の取得）と「作家志望」の技術を学ぶ機会を得たいとのニーズに応えるべく、当研修所を開設されました。

研修期間（1年間）を終了した各研修生に対して、「職」として自立していくためには、更なる技術の研修や皮革加工機械（特別製で高価）・場所の提供、経営・営業（展示会開催）についての学習など、きめ細かなサポートが重要であると考えておられ、行政機関・業界団体・関係機関等の協力・支援が強く求められている。

・研修生の動機、希望・夢（ヒアリングも元に記載）

現在は4人の研修生が在籍し、橋本氏はじめ現役の革職人が加工技術を指導している。

研修生の経歴や今後の「皮革の職」への夢や希望は様々であるが、自立していく上での不安を抱えている。

作家や自作志望の研修生は仕事場所や加工機械の確保、クライアントの確保、商品の受注方法など様々な課題を抱えているが、研修後は様々な情報を収集する機会が減少していくので、自らが能動的に働きかけていくことが大切である。特に、作家や自作志望者はコンペなどの発表機会を通じて、自己研鑽と外部に発信していくことがポイントとなるが、関西地方ではコンペの機会が少ない状況である。

行政機関・業界団体・関係機関等の協力・支援を頂きながら、コンペや商談会などの機会の創出によって、大阪の皮革職人を育てていくことが必要で

ある。

写 研修生の作品写真

(“職人への出発 (たびだち)” 展 2012.3.16~3.20 大阪市西区南堀江 GIFTEN)



例2：特定非営利活動法人 靴産業を元気にする熱烈サポーター シューネクスト

① 定款に記載された目的

この法人は、足と健康に関する研究開発と啓発・情報発信、靴づくりに関する研修・技能検定を通じた技能と品質の維持向上、靴づくりを担う人材の養成などを通じて大阪の靴文化の発展、消費者の健康増進、若者の就労支援と大阪経済の活性化に寄与することを目的とする。

② 設立趣意

「私たちは、靴と健康に関する研究開発と啓発・情報発信、靴づくりに関する研修・技能検定を通じた技能と品質の維持向上、靴づくりを担う人材の養成を、安定した基盤において継続的に行うことを通じて大阪の靴文化の発展、消費者の健康増進、若者の就労支援と大阪経済の活性化に寄与することを目的としてNPO法人を設立するものである。」



所在地

〒556-0013
大阪市浪速区大国3-6-19
TEL. 06-6647-8012



例3：靴 あとりえ西濱

- ① 代表者：太田恭治
- ② 組合員：3名
- ③ 目的

記憶を宝とした私たちの歴史の確認と次世代に繋げる活動の拠点として、「手縫い靴職人」の復権と若手人材の育成を目的としている。

また、様々な太鼓職人などの「技」の人々が集い交流する場として、伝統技術・文化の継承と創造を目指している。

- ④ 事業所の概要

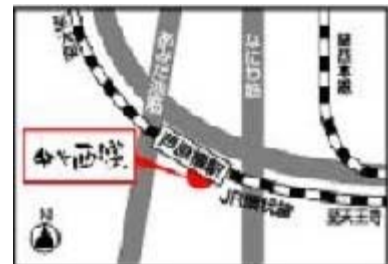
所在地：〒556-0025 大阪市浪速区浪速東 1-4-17

電話：06-6568-4649

メール：nishihama.k.ota@gmail.com

ホームページ：www.atelier-nishihama.cool.coocan.jp/

営業：月曜日～金曜日 AM10:00～PM6:00



- ⑤ 実績

- ・2009. 5：事業所の開設
- ・2009. 5：靴のすべてを学びたい方のための靴講座を開設。3期生が研修中である。
- ・2010. 11. 13 歴史展示室 オープン
【渡辺村の時代】 【西濱の時代】 【浪速の時代】 の3つの時代を写真をメインに展示しております。
また、靴、革の型抜き道具、それに牛から出来る物など、この地に縁あるものを展示。
開室日時：月曜日～金曜日 AM10:00～PM6:00
- ・2011. 1. 9 ～ 10 大阪皮革産業展 開催
靴作り実演や太鼓張り、クラフト教室など、楽しいこと盛りだくさんのイベント開催。